

令和2年度 学校関係者評価委員会議事録

令和2年

日 時 令和3年3月3日（水）午後3時より

場 所 日本指圧専門学校2階1番教室

文京区小石川2丁目12-4

学校関係者評価委員 6名（内3名欠席）

浪越和民、黒沢純一、高橋雄輔、渡邊和雄

加藤 剛、横塚秀樹

馬場雄一、菅野実希子、茂木勇一郎

校長

お忙しい中お越しいただきありがとうございます。

学校をよくするために忌憚なき意見をうかがいたいのでおねがいします。

事務局

馬場先生が議長に選任された。

議長

本年度の自己評価について見ていきましょう。

教育理念の評価についてはどうか。

委員

学校側で評価したものですから、現場の皆さんから見てご意見ください。

委員

自分の在籍していた時から、しっかりした教育理念をもとに教育がなされ、現場でも活かされている。

委員

学校運営の様々な課題は何ですか。

教員

校舎が二つになり、借入金の返済をしていくのと、二つの校舎を維持していくランニングコストが増加している。

また、学生募集が低調傾向にあり運営上、厳しい状況である。
夜間部が特に厳しい。

委員

知り合いでこの仕事に興味がある方がいると、鍼・灸もとったほうが良いかなど聞かれる。

委員

私は夜間部出身ですが、夜間部とても楽しかった。

議長

教育活動の産学連携によるインターンシップとはどんなことを想定しているか。

教員

臨床実習が1単位分、外部実習が認められるようになった。しかし本校の学生数を外部施設
にお願いするには多数の施設の協力が必要であり、少しずつ臨床実習指導者講習会で認定
を受けてもらっている。

議長

学修成果はどうでしょう。

委員

卒業後のキャリア形成の状況を把握する必要がある。

教員

なかなか難しい。卒業後1年目くらいは連絡をもらって、ある程度把握しているが、その後
の状況を追いかけるのは難しい。

議長

企業さんから浪越学園の卒業生がいいと発信してもらおうとよい。
夜間部の募集にもつながるかもしれない。

学習支援についてはどうですか。

委員

生活支援は難しいのですか。

教員

学校に来てくれた学生にはいろいろ話ができるが、私生活に問題がある場合などはなかなか支援ができない。連絡がつかなくなってしまったりする。

委員

カウンセリングを受けるよう勧めてみるのはどうか。

教員

学校のカウンセリングの予約がいっぱいになっている。以前はあまりいなかったが、ここ2年くらいで増えている。精神的に不安定な学生が増えているためだと思う。一度受けると長期にわたることが多い。

委員

無料なのですか。

教員

無料です。

委員

外部にもカウンセリングできる場所はあるが、有料になってしまうから、すすめるのは難しい。

教員

できるだけ学校のカウンセリングを受けられるよう対応していきたい。

議長

教育環境はどうか

委員

新校舎もできていい環境である。

議長

学生受け入れについていかがですか。

委員

学納金はほかの学校と比べると妥当だったと思う。払うのは大変ですが。我々が卒業した後に、専門実践教育訓練給付金ができる。我々の時もあれば助かった。しっかりアピールするとよいと思う。

議長

法令等の順守などは大丈夫だと思います。
社会貢献・地域貢献はどうか。

委員

よいと思います。

議長

国際交流はどうか。

教員

毎年、世界各国から指圧の講習会を受けに来たり、こちらから教員が指導に行ったりしていた。今年は新型コロナウイルスまん延でできなかった。
学生の中にも、卒業後、海外で挑戦してみたいと考えているものがある。世界との行き来ができる時期が来たら、引き続き国際交流はやっていきたい。

事務局

最後まで評価表を見ましたが、いかがですか。

委員

課題と方策をしっかりと立てているので、引き続き改善をお願いしたい。

事務

今年の10月が任期となっておりますが、もう1期お願いしたくよろしく申し上げます。

教員

これからもよろしく願いいたします。